

国際サーカス村通信	VOL13NO4	2008年12月3日(水)
		文責 西田 敬一
編集 NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688 <a href="mailto:mura@circus-mura.net">mura@circus-mura.net</a> <a href="http://www.circus-mura.net">http://www.circus-mura.net</a>		

## ● 総会の報告

平成19年度の総会を下記の日程で開催いたしました。

参加者15名、委任状165名にて、総会成立となり、前回報告しました収支報告書の承認を得、また、下記、事業報告、平成20年度の事業計画などを報告しました。

また、人事につきましては、全員留任となりました。

### <平成19年度事業報告>

本年度の試みで、もっとも大きなチャレンジは、7月21日・渋谷区にある東京都児童会館でおこなった「マールイ・サーカスの一日」という公演の実施です。これは、日本児童・青少年演劇劇団協同組合が主催している“夏休み児童青少年演劇フェスティバル”で、今年は36回目、約20団体が参加、日替わりで公演するものです。18年度に、この児演協への加盟が叶い、参加できたのですが、いざ、東京公演となると、それなりの作品を作らなければならず、さまざまな苦勞がありました。実は、この作品作りのために、ウクライナのキエフサーカス学校の演出家アレクセイ先生をお呼びし、約2ヵ月間、単に一人ずつの作品を見せるのではなく、全体をまとめたショーとして演じる作品作りに集中しました。これが大変な作業でした。というのも、サーカス学校の生徒は、サーカス・テクニク以外はほとんど学んでいません。まして演劇的な訓練はなにも積んでいないので、アレクセイ先生には、大変なご苦勞を強いることになりました。

もうひとつは、空中モノを行うために作ったトラスを、短時間のうちに、劇場内にセットするという難題がありました。なにしろ、このトラスは、サーカス学校でセットした以外はどこにも持ち出していません。果たして上手くできるか、公演前日の夜、なんとかセットできたものの、それは、外部から参加してくださった方、また劇場の方々の力があつたからです。ここで、彼らに改めて、感謝したいと思います。

それにしても、この公演で、生徒たちもぼくらも多くのことを学んだのではないかと思います。ひとつは、サーカスのショーがどのように作られていくか、それを自分たちが参加しつつ学んだこと、そして空中モノなど、道具を使っておこなう演技は、それなりにしっかりした技術が要求されること。こうしたことが、今後の生徒たち一人ひとりが学ぶことができたとすれば、もちろんショーとしてお客様に納得できる作品をお見せできたかということもありますが、大きな成果だったと思います。

こうした試みとは別に、サーカス学校そのものが群馬県下でかなり認知されるようになり、大道芸、サーカスショーの依頼が相当増えてきています。こうなると、ひとつには授業とのバランスの問題が出てきますし、また、公演すれば収入になるということで、そちらが目的化しかねません。外部へかけて公演するのも、サーカス学校の授業、実習のようなものであることを、改めて、生徒たちに自覚してもらうことも大切になってくるのではないかと思います。

また、カンボジア P P S との交流も昨年度に続いて実施しました。といっても、昨年度のようなツアーをおこなったのではなく、今回は、高村篤君に P P S のサーカスフェスティバルに参加してもらいました。来年度は、さらに、密接な交流を行なおうと考えていますが、一方、財政面で苦勞しているのも、その支援のため、会員の方々はじめ、多くの方々に協力していただき、資金を集めさせてもらいました。

プロのクラウン公演としては、ふくろうじの「出口あり」を、シアター X にて行いました。

#### <平成20年度事業計画>

本年度は、初心に帰るといふか、もう一度、足元を見つめるつもりです。というのも、本年度前期終了と同時に、多くの者たちがサーカス村を後にするからです。キグレサーカスに入る者、カナダ留学する者、また卒業後地元に戻る者、卒業後研修生として残っていた者で活動拠点を移す者など、6、7名がサーカス村から巣立っていきます。2009年春に入学してくる生徒もいると思いますが、いくらかは余裕のある時間を持てるのではないかと思います。そこで、今後のサーカス学校のあり方を考えてみたいと思います。

先生の問題、装置の問題、またサーカス学校として使用している体育館の老朽化の問題、そして資金の問題など、考えなければならない問題は少なくありません。

それと、個々人の勉強とは別に、さまざまな依頼に対して、単に依頼を受けるのではなく、こちらから提案してやりたいものをやらせてもらえるようなことも考える必要があると考えています。それは、すぐに、サーカス学校として、本格的サーカスショー作りを行なうということではなく、ミニ・サーカスを作ることで、その作品作りを生徒たち自身に行なってもらいたいからです。

カンボジアとの交流では、フェスティバル参加から一歩進めるために、2週間程度、先方に滞在して、一緒にショーを作れないかと考えています。

またプロのクラウン公演としては、一昨年度に行なった三雲いおり「砂漠にかかる虹」を、去る11月27日(木)、札幌市の生活支援文化施設コンカリーニョで行いました。こうした活動も今後さらに続けていきたいと考えています。ゆくゆくはサーカス学校生徒が、ひとりだけでなく、クラウンと限らず、2、3人で、劇場で披露できる1時間程度の作品が作れるようにしたいという夢もあります。いつそれが可能になるかはわかりませんが、そうしたイメージを持ちつづけていきたいと考えています。そのためには、クラウン志望の生徒がいなければならないのですが、現状、そうした生徒はいないので、さてどうなるかという気持ちもありますが、ひょっとすると、持ちつづけているイメージから、人も作品もうまれてくるかもしれないという、楽観的といふか、どこか間が抜けている期待感といったものがあります。これは事業計画とはいえないものですが、そうしたいくらか奇想天外な発想から何かが動きだし、かたちになっていくこともあるのではないのでしょうか。

いいかえれば、それは自由な発想ができるということ、その発想が行きづまったり、間違えたりすることで、別の道といふか、可能性が見えてくるのではないかと思います。

これは、まさしく事業計画というよりもサーカス村のものの考え方といえるかもしれませんが、それも、これまでのサーカス村・サーカス学校の活動から見えてきた考えといえるかもしれません。

## ● 神戸学院大学公演

去る11月15日(土)、神戸市にある神戸学院大学に招かれ、サーカス学校の公演を行なった。これは、「マールイ・サーカスの一日」の改訂版といった作品で、ほんの少しばかりストーリー性を持たせた作品で、生徒何人かには、サーカス技以外にキャラクターを演じてもらった。



一人のホームレスの青年が、偶然、紛れこんだサーカス団のなかでさまざまなショーを見ているうちに、自分のサーカスの芸をやりたくなって、ついには完成した芸を披露するというもの。もちろん、セリフがあるわけではなく、ホームレスの青年の成長の



物語でもないで、そうしたあらすじにくわえて、そのあらすじに沿ったしシーンをきちんと作りこんでいくというものではないが、お客さんはそれなりに感じとってもらったのではないかなと思う。

作品の出来は上々で、お客さんの反応もよく、公演としては成功だった。

くわえてひとつ報告させてもらえば、反響版の吊りバトン2本を、鉄パイプでつなぎ、



そのバトンをワイヤーで引っ張り、アンカーをとって固定するという作業を行い、なんとシングル・トラップーズ(小一丁ブランコ)、シフオン、吊りロープを行なうという、劇場で初めてかもしれないという演技をやってしまったのである。

元々、こうすれば出来ると思いつつも、なかなか

か、それを実践する場がなかったのだが、ここ学院大学のホールにアンカーをとる場所があったので実行できた、いわば“快挙”である。この経験は、サーカス学校にとって、大きな財産になるだろう。



## ● サーカス学校8年度前期発表会

発表会は、下記の日時に行ないます。

2008年12月19日(金) 15:00～16:30

12月20日(土) 13:00～14:30

場 所 沢入国際サーカス学校体育館(旧沢入小学校体育館)

住 所 群馬県みどり市東町沢入491

問合せ NPO法人国際サーカス村協会

電 話 0277-70-5010 03-3403-0561(東京事務局)

## ● 月例会

議 題 猿回し同行大道芸の旅  
報告者 上島敏昭 氏  
日 時 2008年12月11日(木) 19:00~21:00  
場 所 千駄ヶ谷区民館  
連絡先 03-3403-0561(サーカス村東京事務局)  
\*なお、この日が、本年最後の月例会になりますので、終了後、簡単な忘年会を行ないたいと思いますので、ご出欠をお知らせください。

### 各サーカス団コース

#### ★ 木下サーカス

○宮崎公演 2008年12月13日(土)~2009年2月3日(火)  
休演日 毎週木曜日と12月17日(水)、12月31日(水)、1月14日(水)ただし1月1日(木)は開演  
会場:宮崎市塩路2779平和リース広場 特設会場  
電話:0985-29-0333(12月8日まで) 0985-39-0333(12月8日から)  
○大分公演 2008年2月15日(日)~2009年4月14日(火)  
休演日 毎週木曜日と2月18日(水)、3月18日(水)  
会場:大分スポーツ公園 H駐車場 特設会場  
電話:097-533-0045(2月10日まで) /097-551-0045(2月11日から)

#### ★ キグレ New サーカス

○高知公演 2009年1月1日(木)~2月22日(日) 休演日:毎週木曜日  
会場:高知市秦南町1-137-1 イオン高知東隣特設会場 電話:088-803-9550

#### ★ ポップサーカス

○鹿児島公演 2008年11月1日(土)~12月7日(日) 休演日:木曜日  
会場:イオン鹿児島ショッピングセンター内特設大テント会場 電話:099-263-3610  
○沖縄公演 2008年12月27日(土)~2009年2月22日(日)  
休演日:毎週木曜日、12月31日(水) ただし、1月1日(木)は公演  
会場:豊崎タウン内特設大テント会場  
電話:098-869-4426(12月21日まで) 098-851-1101(12月22日から)

★ ニクーリンサーカス 2009年1月18日(日)~3月7日(土)  
東京ドームシティ JCB ホール  
問い合わせ 東京ドームシティわくわくダイヤル 03-5800-9999

★ CIRQUE DU SOLEIL「CORTEO コルテオ」 2月4日(水)~5月5日(祝)  
原宿新ビッグトップ  
問い合わせ インフォメーションデスク 03-5237-7120